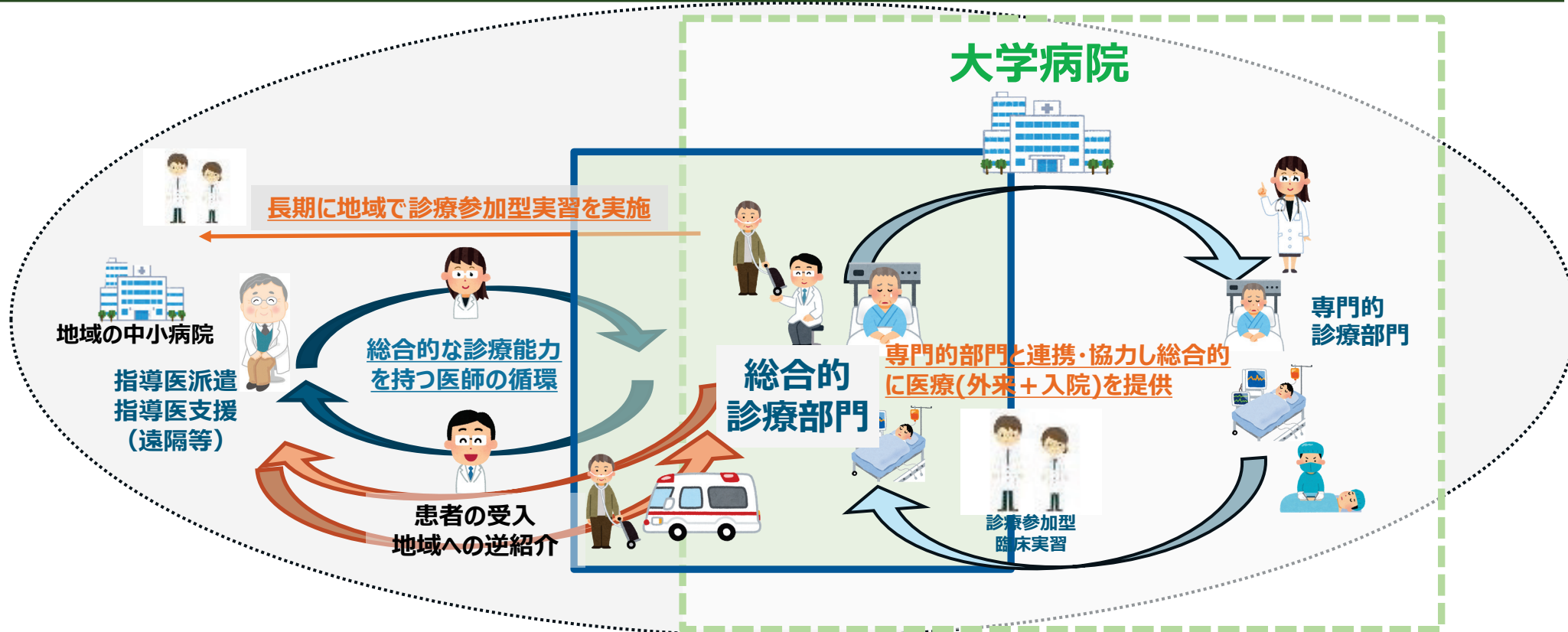


大学を中核とした地域における総合的な診療能力を有する医師の養成事業

＜事業内容＞

- 大学病院において、主治医／共同担当として外来・入院患者に継続的に責任を持ち、専門的な診療部門とも連携しつつ、総合的に患者を診療する姿勢・能力を醸成・強化する。育成された医師が地域の病院と大学病院とを循環しながら、地域に必要とされる「断らずに診る」医師の確保に貢献する。
- 地域の中小病院において医学生が長期・連続で同一の診療科に配属され、診療参加型臨床実習を行うプログラム（長期地域医療実習）を開発・強化することにより、多様な症例等を経験し地域に定着する、総合的な診療能力を備えた医師の養成を促進する。



＜事業の狙い・効果＞

- 総合的な診療能力が強化された医師が地域と循環することで、地域における対応能力の強化や患者の適切な循環、医療機能の役割分担が形成・強化される。
- 地域における長期の実習等を通して、医師の地域定着や地域循環、真に総合的な診療能力を有する医師の養成が推進される。

1 趣 旨

2040年に向けた地域の医師確保に資するため、特定の診療科しか対応できない医師ではなく、1次救急から3次救急まで大学病院において外来＋入院機能により患者を責任を持って総合的に診療する取組を強化し、そこで育成された医師が地域と大学を循環しながら、地域に必要とされる「断らずに診る」医師の確保に貢献する。また、学部段階から多様で複雑な症例への対応能力を身に付けるため、地域中小病院での長期・連続した臨床実習を診療参加型で実施する。

2 概 要

共通軸：専門分化された診療機能を横断し、「総合的に患者を診る」「断らずに診る」医師を養成する教育基盤を形成

A

大学 | 外来＋入院機能による総合診療の拠点強化

大学病院において、主治医／共同担当として外来・入院患者に継続的に責任を持ち、専門的な診療科とも連携しつつ、総合的に患者を診療する姿勢・能力を醸成・強化する。育成された医師が地域の病院と大学病院とを循環しながら、地域に必要とされる医師の確保に貢献する。

+

B

地域の医療機関 | 長期地域医療実習の促進

医学生を長期間、幅広い患者に対応する同一の診療科に配属し、継続してcommon disease・高齢者救急・在宅診療等に関わりながら一定の責任下での経験・患者の長期経過等の観察を行うことで、総合的な診療能力を有する医師の地域定着を図る。

3 事業内容：取組段階に応じた支援メニュー（選択制） 実施期間：3カ年 1件：250万円～1,000万円 8か所程度

※各メニューの金額は初年度における基準額であり、件数は目安

A | 外来＋入院機能による総合的診療の拠点強化

1

立ち上げ支援 5,000千円 / 1件

立ち上げ段階（機能未整備・小規模等）から具体目標に沿った立ち上げを支援

2

強化・拡充支援 7,500千円 / 1件

入院機能等の規模、機能、対象等の拡充を支援

3

伴走・教員育成支援 10,000千円 / 1件

実地受入れ＋オンライン教育・対象校訪問等で人材育成・伴走支援を実施

B | 地域における長期・継続した診療参加型実習

1

立ち上げ支援 2,500千円 / 2件

長期・継続した診療参加型実習の新規立ち上げを支援

2

強化・拡充支援 7,500千円 / 2件

実習期間の延長を中心に学生数・施設数等の拡充を支援

3

遠隔地実習支援 2,500千円 / 1件

都市部の大学の学生が地方の中小病院で行う実習を支援

4 効 果：地域で必要とされる総合的な診療能力を有する医師の増加

診療機能向上

多様・複雑な患者のアウトカム向上



横断教育

多様・複雑な症例を横断的に学修



地域連携

指導医・学生が大学と地域の医療機関を循環
→医師のスキルと地域理解の向上



地域に必要な医師の増加

総合的な診療能力を有する医師の養成
と地域定着の推進